

## 第4回 須坂市総合計画審議会専門部会 議事録（要旨）

### 1 会議名

第4回 須坂市総合計画審議会専門部会 元気部会

### 2 開催日・場所

開催日時 平成22年7月8日（火） 午前10時から午後12時

場所 市役所東庁舎2階 第3委員会室

### 3 出席者

#### (1) 委員

小澤 吉則委員（部会長）、太田 哲郎委員、神林 清治委員、日向野 靖司委員、  
（欠席 中野 博勝委員）

#### (2) 幹事・担当課

総務部長、産業振興部長、会計管理者、総務課長、農林課長、農林課推進役、財政課  
長、税務課長、学校教育課長、子ども課長、商業観光課長、工業課長

（欠席：教育委員会次長、議会事務局長、商業観光課推進役、学校給食センター所長、  
選挙監査事務局長）

#### (3) 事務局

政策推進課長、政策推進課長補佐、政策推進課職員

### 4 配布資料

資料1 第五次須坂市総合計画・将来人口について

資料2 第五次須坂市総合計画・前期重点プロジェクト(案)

資料3 第五次須坂市総合計画・前期基本計画原案(平成22年7月8日版)

資料4 第五次須坂市総合計画・前期基本計画 指標設定表(施策指標・取組み指標)

資料5 第三次国土利用計画（須坂市計画）

資料6 第五次須坂市総合計画 基本構想 将来像案

（資料番号なし）「須高の元気ママ応援マガジン[ペチャクチャ]」

### 5 審議状況（会議事項）

#### (1) 開会

##### 政策推進課長：

ただいまから第4回 須坂市総合計画審議会専門部会【元気部会】を開会いたします。  
審議事項までの間、進行役を務めます。よろしくお願ひいたします。  
本日の会議について、中野委員から、欠席の連絡を受けておりますのでお知らせいた  
します。

次に、資料の確認をお願いいたします。事前配付させていただきました資料ですが、  
資料1 第五次須坂市総合計画・将来人口について

- 資料2 第五次須坂市総合計画・前期重点プロジェクト(案)
- 資料3 第五次須坂市総合計画・前期基本計画原案(平成22年7月8日版)
- 資料4 第五次須坂市総合計画・前期基本計画 指標設定表(施策指標・取組み指標)
- 資料5 第三次国土利用計画(須坂市計画)

となっております。

追加で本日配付の資料としまして、

資料6 第五次須坂市総合計画 基本構想 将来像案

資料番号はありませんが、「須高の元気ママ応援マガジン[ペチャクチャ]」

となっております。不足分がございましたら申し出ください。

## (2) 専門部会長あいさつ

**部会長：**

おはようございます。4回にわたり行ってきました専門部会ですが、本日はまとめとなります。数値指標なども提示され、計画の原案が示されています。本日の審議をうけ修正も可能ですので、是非積極的なご意見をいただきたいと思っております。よろしくお願致します。

**政策推進課長：**

次第3の審議事項につきましては、進行を小澤部会長にお願いいたします。

## (3) 審議事項

**部会長：**

まず最初に本日の第4回専門部会の会議の位置付けを説明願います。

**事務局：**

本日の専門部会は最終回として、将来人口から具体的な指標内容の細かい部分までの一番広範囲な内容をご審議いただくこととなります。

将来人口の記述についても再度事務局及び庁内で協議しましたので、その表現方法や内容についてもご審議いただきます。

総合計画の中では最も細かく具体的な内容となる指標内容や、重点的なまちづくりの柱であり施策の内容と連動します前期重点プロジェクトの内容について確認していただきます。

国土利用計画については、一足先に計画全体を示します。これまでの理念的な記述部分から今回示します第3の具体的な内容や参考資料の内容までこちらも広範囲となりますがご審議いただきます。

- ① 「第五次須坂市総合計画・将来人口について」
- ② 「第五次須坂市総合計画・前期重点プロジェクト案」

**部会長：**

では、次第の項目に沿ってすすめてまいります。

(1)の「第五次須坂市総合計画・将来人口について」と関連する(2)の「第五次須坂市総合計画・前期重点プロジェクト案」について一括して、事務局から説明をお願いいたします。

資料は事前に送付していただいておりますので、説明は簡単をお願いいたします。不明な点やご意見などは、説明終了後をお願いいたします。

**事務局：**

それでは、(1)「第五次須坂市総合計画・将来人口」及び「第五次須坂市総合計画・前期重点プロジェクト案」につきまして、資料に沿って一括して説明させていただきます。

お手元の資料1と2及び資料2の補足資料をもとに説明いたします。

**【事務局より 資料説明】**

**部会長：**

ただいま事務局から説明がありましたが、ご質問、ご意見がありましたら、お願いいたします。

人口目標については、これまでの基本構想で述べる内容から、前期重点プロジェクトで示すように変更し、目標人口も53,000人を50,000人に変更する案が出されました。この変更点などのついてご意見をいただきたいと思っております。

**委員：**

変更案を説明していただき、非常に現実的な目標ということで、現実的な取り組み内容を示していただき全体的にはこの案で良いのではないかと思います。

その中で確認したい点があるが、重点プロジェクトの中で、宅地造成と土地の価格についての関連について伺いたい。家を作ろうかという際に、住環境も考えるが、取得価格についても重要な視点だと思う。人口増加を考える際に、住宅取得価格についてその影響や要素をどう考えているのか。

人口目標を掲げているが、目標設定に際し地価や住宅価格の影響を考えているのか。

須坂は地価が高いのではないかと思います。住宅施策をすすめる上で、影響があるのではないかと。造成すれば人が来るのではなく、そういう面も検討材料とする必要があるのではないかと。

**部会長：**

最近では逆に長野市の地価が下がっている。

ベットタウン的立ち位置も変化しつつあるのでは

**政策推進課長：**

今回の計画に際しては、地下や住宅価格を加味して検討はしていません。

**委員：**

地価を加味する必要はあると思う。

国や他市町村との関係から見て、目標人口が多すぎたので減らしましたというのも、現実的で良いとも思う。

しかし、できるものを達成可能な目標をかかげるのでは意味がない。ハイレベルな目標を掲げ進めていくことをしないと、何をやっても次第に状況が悪くなる。

例えば、人口10%減少なら、その規模に則し職員数や議員数を10%カットするのか、加味して検討したのかということである。

目標数値は少々しんどくても、ハイレベルであるべき。その達成に向け重点的を絞って取組み、国や他市町村に比べ須坂市としてまちづくりの形が打ち出せたという計画が欲しい。

絶対届かないと分かっている目標を捉えるという無理な目標設定はないが、努力してでも近づける目標を設定することは必要である。

53,000人から50,000人に目標を下げたことは理由があればよいし、47,000人の推計に比べ50,000人を達成すること自体も難しいとは思いますが、そういう意味でもハイレベルの目標を持っていてしかるべきだと思う。

人口減少の割合が10%減少となるのであれば、あらゆる面で規模をあわせるべき。須坂市の将来の規模を維持できるのか検討すべきである。

これまでの世の中では考えられなかったことも、世の中の流れに対して対応できる動きを打ち出すべき。大変ではあるが、行政も対応すべきである。ただ土留めをするだけでは、衰退するのみ。あしたはなくなってしまう。

時にはデータを越えた発想が必要。

委員が前回話しましたが、自分のことは自分で行うべきである。

例えば自分のまちの観光をどうするかと考えた際には、観光で一番欠けているのは過去の経験から観光に取り組むまちはトイレや駐車場である、と言ったがまだ形になっていない。田中本家を核として発展する施策がないなど。須坂には発想の転換がない。ハイリスクをしょっても取組み、何とか形を出す取組みが必要。

ごもつともな説明であったが、これで良いのかなと思った。人より必要以上に衰退の度合いを強めなければそれで良いのかなと。人口目標を修正するのは消極的考え方はやめて欲しい。

#### 部会長：

前向きなご意見をいただいた。

先ほど説明がありましたが、たとえ人口が減少しても地域の活力を維持し活性化を図ることが、地域のまちづくりの大きな課題ということが、一つの検討している部分かと思う。

#### 委員：

重点プロジェクトについても、絞り込みが必要である。この案では重点も散漫である。

#### 総務部長：

土地の問題もご意見をいただいたが、現状は転入者が減少し転出者を下回っている状況である。これは、転入転出の原因を分析する必要がある。

今までとは異なる計画内容として、第五次総合計画では「重点プロジェクト」を掲げた。目標を持って4つの重点を掲げた。この内容をさらに整理していくとともに、プロジェクトの指標達成について具体性を持って取組んでいくと考えている。

**委員：**

4つのプロジェクトとしても、施策に充てていくにも絞り込むべき。

この4つのプロジェクトの中の、各施策に予算付けするにしても、一つの施策にする  
と微々たるものになってしまうのではないか。もっと絞ってよいのではないか。

人口目標についても、あまり夢みたいな数字よりも実現可能な現実的な目標が良いと思うが、これまで提示していた目標達成のための取組みの中の根拠の数字はどこから出てきた数字なのか。

**事務局：**

前回他の部会でも同じご意見が出まして、積算根拠を再度確認して本日資料として提示しました。これまでの資料の数字が逆に後追いの漠然とした数字で根拠がありませんでした。

数字に根拠を持たせるためのデータを用いたものが今回の資料です。

**委員：**

分かりました。

**委員：**

会社の実情を例に出しますが、本社を須坂に移し東京にいた社員が市内に住んだ。

雇用確保が人口増加の取組みにおいて、非常に大きな役割を担っている。

日滝原産業団地を完売することは市全体で取組むべき最優先事項である。

県の団地だから県任せではなく、須坂の人口増加に寄与する大きなポイントである。

先ほど総務部長の説明があつたが、出ていく要因と、入らない原因が必ずあるので分析する必要が大いにある。

不動産業では、見学のみで帰ってしまう人にアンケートをおこない分析している。住環境での不足している点などを調査している。

転入しない理由を調査分析すべき。

**総務部長：**

転入転出の分析をおこない、今後の人口増加策に活かしていく。

人口増加プロジェクトの目標達成に向けての取組みの中には、日滝原産業団地の残り分が埋まることを積算に加味してある。

**委員：**

人口増加の目標については、このような内容で良いかと思う。  
市営住宅や県営住宅の建て替え計画はどのようになっているのか。  
刑務所についての取扱いがどこにも書かれていないが、将来的にどのように考えているのか、このまま置かれるのか移転するのか。

**総務部長：**

市営住宅の建て替えについては、住環境を充実させることで、ストックを逆に減少させることとなってしまいが、直接人口増加の施策とはならないことをご理解いただきたい。

刑務所については前期基本計画にはあげていないが、今後のあり方については意見があれば考えていかなければならない事項であると認識している。

**委員：**

それも含めて人口増加に取り組むべきであると考えている。

将来的に須高や長野市との合併についても、計画に明記しなくとも今後念頭においていくべきである。

**総務部長：**

総合計画や土地利用計画、産業活性化についても人口増加に関する部分については、念頭において取り組んでまいりたい。

合併については、その流れがあれば視野に入れて考えるべきかと思う。

**③ 第五次須坂市総合計画・前期基本計画原案修正について**

**部会長：**

次の（３）第五次須坂市総合計画・前期基本計画原案修正について、事務局から当部会の担当部分と共通部分について説明をお願いいたします。

**事務局：**

それでは、資料３ 第五次須坂市総合計画・前期基本計画原案修正につきまして、資料に沿って説明させていただきます。前回までご審議いただいている内容ですので、変更追加の部分を中心にかいつまんで説明させていただきます。

資料４につきましては、施策指標と取組み指標のみを抜粋した一覧です。

お手元の資料３をもとに説明いたします。

【事務局より 資料説明】

**部会長：**

ただいま事務局から説明がありましたが、ご質問、ご意見がありましたら、お願いいたします。

**委員：**

14ページの奨学金採用者数の現状は何件か。

**学校教育課長：**

平成21年度の実績は15件です。

**部会長：**

66ページの課題と現状に、市内の宿泊施設が少ないことについての記述があるが、これに対する取組みはどのように考えているか。

課題にあげると、何らかの取組みが必要かと思います。

**産業振興部長：**

宿泊施設については、取組みとしては考えていない。須坂市内の宿泊施設は、須坂温泉や峰の原ペンション、その他市内の宿泊施設は何件かある現状。何に対して少ないと捉えるかという考えもありますが、それが故に観光客に通過されているとも思えない部分もある。施策の中で、宿泊施設についてのみを明記して取組む内容はありません。

**委員：**

事実観光客は須坂を通過してしまっているのではないか。

過去に総合体育館の計画の際にも、大きな大会が開催できる施設ということで計画が出ていたが、選手たちの宿泊先について考えられていなかった。

**産業振興部長：**

取組みの中の「社会的課題に適応した観光振興」の取組みの中で、宿泊施設も含め「ニーズに適応した観光産業の開発を支援」で対応したいと考えている。

**部会長：**

新たな観光産業の目標数値の3件とは、どのような内容を想定して目標と設定しているのか。

**産業振興部長：**

企業見学などの産業観光などを想定している。今まで観光とは認識されていなかった分野を想定しています。

**商業観光課長：**

健康への取り組みや企業見学など、様々なシーンと観光を関連付けていくことを考えている。

**部会長：**

新たな産業観光の創出により、交流人口の増加につながると思います。

**委員：**

58ページの指標「JA須高の取扱品目の販売実績」については、JA須高の関係部署との相談の上計上されているものか。JA須高とは言え、管内取扱量の全てではないので、農業センサスなどの数値を指標として使った方が良いのではないか。

**農林課長：**

どの数値を指標として使うか、またJA須高の販売実績を用いるのであれば、JA須高担当部署と相談する。

再度検討させていただきたい。

#### ④ 国土利用計画（須坂市計画）について

**部会長：**

審議事項(4) 国土利用計画（須坂市計画）について、事務局から説明をお願いいたします。

**事務局：**

それでは、(4) 国土利用計画（須坂市計画）につきまして、資料5の説明をさせていただきます。

【事務局より 資料説明】

**部会長：**

ただいま事務局から説明がありましたが、ご質問、ご意見がありましたら、お願いいたします。

#### ⑤ その他

**部会長：**

審議事項(5) その他について、本日追加しました「資料6 基本構想【将来像】について」と「須高の元気ママ応援マガジン[ペチャクチャ]」につきまして事務局から説明をお願いいたします。

**事務局：**

それでは、(5) その他としまして、資料6及び「ペチャクチャ」の説明をさせていただきます。

資料6 基本構想【将来像】について

現状案として示している将来像は、案1のものです。

将来像についてまだ決まっていないため、他市の将来像についてまとめたものと、事務局案を説明します。次回8月3日の全体会時に将来像を決めたいと考えていますので、事前配付資料として提示します。

「ペチャクチャ」について

総合計画と国土利用計画を分かりやすく見やすいものとするために、デザインアドバ

イザーとしてこのフリーペーパーの編集者にサポートしていただいていることを説明します。

行政の視点ではない、市民のみなさんの目線で見たいと考えています。

**部会長：**

確認ですが、この現状案の1は市長の公約と同じで、考えたかどうかというご意見があったものですね。

**事務局：**

案1は市長の公約と同じ案です。

**部会長：**

前期重点プロジェクトの「地球環境保全プロジェクト」の指標として、二酸化炭素削減が挙げられていますが、プロジェクトの施策指標の中で二酸化炭素を削減できそうな施策指標は「森林整備面積」くらいかと思います。国などでは、エコカーへの転換や省エネ住宅の推進などの取組みですが、その関連付けはどのように考えていますか。

**総務部長：**

関連する施策の指標のみを行っただけでは、重点プロジェクトの指標にあげた二酸化炭素の削減には直接つながりません。ここに示した施策指標は関連する施策であげた施策指標の一覧です。8ページの一覧で、丸印がついていない施策についても、関連する取組みは重点プロジェクトの目標値達成のために取組みます。例えば、施策10「自然環境の保全」の中の取組みで、「環境基本計画の推進」「地球温暖化防止対策実行計画の策定」などは直接二酸化炭素削減に関わるものとなります。このように、丸印のついていない関連の強い施策以外の施策についても、各プロジェクトの目的達成のために取組みます。

**部会長：**

ただいま事務局から説明がありましたが、ご質問、ご意見がありましたら、お願いいたします。

**部会長：**

審議事項は以上ですが、全体を通してご意見、ご質問はありますでしょうか。

**部会長：**

なければ本日の審議事項は以上といたします。以降は事務局でお願いいたします。

#### (4) 今後の予定

**政策推進課長：**

専門部会は本日が最後で、次回は第4回全体会となります。

すでに日程調整させていただきまして、通知しましたとおり8月3日火曜日の午後1時30分から東庁舎3階 第4委員会室にて開催させていただきます。

今回の専門部会でのご意見を反映し、計画の全体調整をした内容を第4回全体会で審議していただき、その内容にて9月にパブリックコメントをおこなう予定であります。

#### (5) その他

##### 政策推進課長：

事務局からは特にございませんが、ご出席の皆様から何かございますでしょうか。

以上となります。

ありがとうございました。

#### 6 閉会

終了 午後12時

以上